

心の風景

181



カタクリはユリ科の多年草で、早春に薄紫色の可憐な花を咲かせます。種に、アリが好む「エライオソーム」という物質がついているため、アリに捨られることで群落を広げます。

(土田・可児川下流域自然公園)



表紙の人

沖田八重さん
(自宅アトリエにて)

昨年の秋、出身の浜松で念願の個展を開催しました。沖田さんの作陶活動を知る旧友らの期待に応えたものです。子どものころを思い起こし、二年がかりで山里で暮らす村人たちを再現しました。

作陶歴は22年。多くの展示会で入賞しています。陶芸教室に通って基礎技術を学んだ後、焼き物の人形づくりに魅せられました。自宅に窯を設けてからは、家族の協力も得て、さまざまなテーマの作品を生み出しています。「土や釉薬の種類、焼成温度の設定には、何度も失敗を繰り返しましたが、専門家のアドバイスに助けられました」と、人の縁を大切にします。

「遊び心に加え、新鮮さがある」とは、夫の廣さんの評。「いつも土をごねてくれる、夫の気遣いに感謝しています」と、八重さん。「八重窯」と名付けたアトリエで、所狭ましと並べられた作品は、どれもユーモラスで温かく、八重さんの人柄が伝わってきます。

広報かに No.664 2010年3月1日号

編集・発行／可児市役所 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番地
☎(0574) 621111 FAX(0574) 610345 URL <http://www.city.kani.lg.jp/>

市の人口 101,954人(男/50,566人 女/51,388人) 世帯数 38,352世帯(2月1日現在)
(前月より10人減・11世帯増、昨年同月より1,391人減・157世帯減)



広報かには再生紙を使用しています。
大豆油インキで印刷されています。